SMAフィードスルー電極とビームとの電磁結合のモード解析

Accelerator Laboratory, KEK, Tsuyoshi Suwada (tsuyoshi.suwada@kek.jp)

はじめに

1. KEKB入射器陽電子源に電子(e-)・陽電子(e+)バンチ同時計測可能な広帯域モニターを2020年度夏期保守に設置.

2. 陽電子標的で生成される*e-e*+バンチのバンチ長、電荷量、位置計測、 バンチ間隔の同時分離計測に成功 (世界初の成果).

高い放射線環境、狭いスペース、 分離検出の困難という問題を克服.
 広帯域モニター開発にあたり、その動機、事前検討/設計、試験結果についての報告.

e+捕獲部におけるe+/e-バンチ捕獲

e+beam generation system



9-12 Aug. 2021, Tsuyoshi Suwada/ KEK Acc.Lab.



広帯域オシロの*de-embedding technique*による 信号波形補正



9-12 Aug. 2021, Tsuyoshi Suwada/ KEK Acc.Lab.



(a) 結合モデル, SMA同軸アンテナ(送信)-BPM同軸アンテナ(受信)による結合として考える. BPM同軸には表皮のみ電流が流れる.

(b) BPM同軸をリングビーム(厚さ無)に置き換える. リングビームの横広がりをガウス 分布に置き換え積分すると広がりのあるビームとの結合度が導出できる.

(c) SMAを励振するとBPMにはTEM/TM/TEが励振される.BPMが励振されると高次モ ードは励振されるがSMAのカットオフにより結合しない.

(d) ビームの場合、TEM結合だけを考えればよい. 解析の詳細は本報告を参照.

SMA電極とビームとの電磁結合強度の評価



(left) ガウスビームによるTEM結合度の周波数依存性
 (right) ガウスビームによるTEM結合度のSMA端子突き出し長さ依存性

9-12 Aug. 2021, Tsuyoshi Suwada/ KEK Acc.Lab.

まとめ

陽電子捕獲部に設置するコンパクト、広帯域、高周波損失補正機能(signal de-embedding, 10 GHzが必要)を有する広帯域モニターの検討により、 e+e-バン チの分離検出が充分可能.

2. 高速テストパルスによる高周波損失試験によると、 signal de-embeddingにより検出信号が時間領域で問題なく信号波形が回復することを検証.

3. ビームとSMA端子の結合解析では、SMA同軸-BPM同軸による結合解析をビ ームとの結合に応用した. 数値解析に基づき信号検出強度を算出、SMA端子の 突出し長さの最適化.

4. ビーム試験の詳細は、T. Suwada, et al., Sci Rep 11, 12751 (2021)参照.

SMA電極とビームとの電磁結合のモード解析

・SMA励振時、基準面に励振されるTEM

$$E_{r_{0}}(r) = \frac{1}{\sqrt{\ln(a/b)}} \frac{1}{r}, E_{\phi_{0}}(r) = 0, \quad (4)$$
·SMA励振時、基準面に励振されるTEmn

$$E_{r_{mn}}(r) = \frac{\sqrt{\pi(m/r)} [J_{m}(kc_{mn}r)N'_{m}(kc_{mn}b) - N_{m}(kc_{mn}r)J'_{m}(kc_{mn}b)]}{\sqrt{(J'_{m}(kc_{mn}b)/J'_{m}(kc_{mn}a)^{2}[1-(m/kc_{mn}a)^{2}-[1-(m/kc_{mn}b)]^{2}]} (1)$$

$$E_{\phi_{mn}} = \frac{\sqrt{\pi(kc_{mn})} [J'_{m}(kc_{mn}r)N'_{m}(kc_{mn}b) - N'_{m}(kc_{mn}r)J'_{m}(kc_{mn}b)]}{\sqrt{(J'_{m}(kc_{mn}b)/J'_{m}(kc_{mn}a)^{2}[1-(m/kc_{mn}a)^{2}-[1-(m/kc_{mn}b)]^{2}]} (1)$$

$$E_{\phi_{mn}} = \frac{\sqrt{\pi(kc_{mn})} [J'_{m}(kc_{mn}n)N'_{m}(kc_{mn}b) - N'_{m}(kc_{mn}r)J'_{m}(kc_{mn}b)]}{\sqrt{(J'_{m}(kc_{mn}b)/J'_{m}(kc_{mn}a)^{2}-[1-(m/kc_{mn}b)]^{2}]} (1)$$

$$E_{r_{mn}}(\phi) = \sin(m\phi), E_{\phi_{mn}}(\phi) = \cos(m\phi). \quad (3)$$
·SMA励振時、基準面からBPMを見たインピーダンス
$$Z_{in} = \frac{1}{2} \left[Z_{TEM} + \sum_{m=1}^{\infty} \sum_{n=1}^{\infty} Z_{TE_{mn}} + \sum_{m=0}^{\infty} \sum_{n=1}^{\infty} Z_{TM_{mn}} \right] (12)$$

$$Z_{out} = Z_{TEM}. \quad (13)$$
·BPM励振時、基準面からSMAを見たTEM結合強度
$$C_{TEM} = \frac{Z_{out}}{Z_{BPM}}, Z^{BPM} = \frac{\eta_{0}}{2\pi} \ln(a/b). \quad (14)$$

9-12 Aug. 2021, Tsuyoshi Suwada/ KEK Acc.Lab.